

令和5年11月17日

ご担当者様

一般社団法人日本生産者GAP協会  
事務局 田上隆多  
茨城県つくば市松代 3-4-3-A402  
TEL029-861-4900  
FAX029-856-0024

---

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

下記書類を同封致しましたので、宜しくご査収下さいますようお願い致します。

敬具

記

- ・ 「2023年度 GAPシンポジウム」への参加について(依頼)
- ・ シンポジウム開催概要
- ・ 参加申込書

以上

5 社生 GAP 第 1 号  
令和 5 年 11 月 17 日

ご担当者様

一般社団法人日本生産者 GAP 協会  
理事長 田上 隆一  
(発行責任者)

「2023 年度 GAPシンポジウム」への参加について(依頼)

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、「2023 年度 GAPシンポジウム」を下記の通り開催しますので、担当者のご参加をお願い申し上げます。

また、開催概要を同封いたしましたので、関係部署および関係者宛にお届けいただけますよう、何卒よろしく願いいたします。

記

名 称：2023 年度 GAP シンポジウム

『実践ガイド 生態学的土づくり』日本語版出版記念大会

テーマ：グリーンな栽培体系と国際水準 GAP

日 時：2024 年 2 月 8 日(木)13 時～17 時、9 日(金)9 時 45 分～17 時

会 場：つくば研究支援センター(茨城県つくば市)およびオンライン(zoom ウェビナー)

※開催後に参加者限定で各講演のビデオをストリーミング配信

主 催：一般社団法人日本生産者 GAP 協会

共 催：農業情報学会、一般社団法人 GAP 普及推進機構、特定非営利活動法人経済人

コー円卓会議日本委員会、一般社団法人沖縄トランスフォーメーション(沖縄 DX)

特別協賛：株式会社つくば分析センター

事務局：大会実行委員長：小松崎将一 茨城大学農学部教授

(一社)日本生産者 GAP 協会 教育・広報委員会、(株)AGIC 大会事務局

H P: <https://www.fagap.or.jp/seminarsymposium/symp2023/>

以上

大会事務局 一般社団法人日本生産者 GAP 協会 事務局 田上隆多(担当者)  
〒305-0035 茨城県つくば市松代 3-4-3 A402  
E-mail:[mj@fagap.or.jp](mailto:mj@fagap.or.jp) TEL:029-861-4900 FAX:029-856-0024  
<http://www.fagap.or.jp/>(一般社団法人日本生産者 GAP 協会 HP)



## 開催概要

### 2023 年度 GAP シンポジウム 『実践ガイド 生態学的土づくり』日本語版出版記念大会 『グリーンな栽培体系と国際水準 GAP』

#### 【開催趣旨】

本シンポジウムでは、持続可能な農業を目指す生態学的農法について、日本の第一人者から学びます。また、米国農業が実績を上げている生態学的土壌管理に関して、農家と農業改良普及員のバイブルと言われている『実践ガイド 生態学的土づくり』の講義を通じて、日本農業の問題を解決する「グリーンな栽培体系」の実現について議論を深めます。

さらに、生産性と持続性を同時に達成することを目標とする世界と日本の農業が、GAP(適正農業管理)をどのように進めるのか、国際水準 GAP を意識し、世界の GAP 認証も含めた現実的な課題解決のための議論を進めます。

#### 【開催概要】

日 時：2024 年 2 月 8 日(木)13 時～17 時、9 日(金)9 時 45 分～17 時

会 場：つくば研究支援センター(茨城県つくば市)およびオンライン(zoom ウェビナー)

※開催後に参加者限定で各講演のビデオをストリーミング配信

参加費：<個人>主催・共催等会員：¥7,500、一般：¥11,250、大学生：¥1,500、  
高校生：無料

<団体>農学系大学・専修学校・農業高校の授業として聴講：¥11,250

\*配布(送付)資料：GAP シンポジウム講演要旨

推奨資料(別売)：『実践ガイド 生態学的土づくり』

2 日目は主に上記書籍の内容を踏まえた講演・講義が行われます。

当日までにお求めになることを推奨します。

<https://www.fagap.or.jp/publication/book.html#bookinfo>

主 催：一般社団法人日本生産者 GAP 協会

共 催：農業情報学会、一般社団法人 GAP 普及推進機構、特定非営利活動法人経済人  
コー円卓会議日本委員会、一般社団法人沖縄トランスフォーメーション(沖縄 DX)

特別協賛：株式会社つくば分析センター

特別企画：試験室・機器分析室見学会 事前申込先着 20 名

事務局：大会実行委員長：小松崎将一 茨城大学農学部教授

(一社)日本生産者 GAP 協会 教育・広報委員会、(株)AGIC 大会事務局

参加申込：<https://www.fagap.or.jp/seminarsymposium/symp2023/>

プログラム

1日目

12:00～	受付
13:00～	開会・オリエンテーション
13:10～ 13:25	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主催者挨拶 『実践ガイド 生態学的土づくり』日本語版出版に当たって(仮) 二宮正士 東京大学農学生命科学研究科 (名誉教授)</li> <li>○講演 テーマ:持続的な農業は生態学的土づくりという GAP から(仮) 田上隆一 日本生産者 GAP 協会理事長</li> <li>○農政報告 テーマ:グリーンな栽培体系への転換(仮)</li> <li>○講演 テーマ:日本に適したリジェネラティブ(環境再生型農業)・オーガニック農法(仮) 金子信博 福島大学食農学類生産環境学コース 教授</li> <li>○講演 テーマ:真に持続可能な農業を科学する(仮) 小松崎将一 茨城大学農学部附属国際フィールド農学センター長 教授</li> </ul>
16:30～ 17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>○質疑応答</li> </ul> 1日目クロージング

2日目

9:15～	受付(入室)
9:45～	2日目オリエンテーション
10:00～ 12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>○出版記念基調講演 テーマ:『実践ガイド 生態学的土づくり』で体系的に学ぶ(仮) 翻訳者による講義:米国の事例を基に本書の生態学的土づくりを解説 山田正美 日本生産者 GAP 協会専務理事</li> <li>○講演 テーマ:不耕起畑作試験・日本での可能性と課題(仮) 小松崎将一 茨城大学農学部附属国際フィールド農学センター長 教授</li> </ul>
12:00～ 13:30	昼休み(特別企画:つくば分析センター 試験室・機器分析室見学会 事前申し込み先着 20名)
13:30～ 15:20	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本の生態学的土づくり事例(仮)</li> <li>○GH 農場評価/GLOBALG.A.P.と生態学的土づくり(仮) 日本生産者 GAP 協会</li> </ul>
15:40～ 16:45	<ul style="list-style-type: none"> <li>○質疑応答</li> <li>○総合討論</li> </ul>
16:45～ 17:00	クロージング・閉会

※講演内容、時間は進行上の都合により変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。(敬称略)

必要事項を記載して、この用紙で FAX していただくか、ファイルを email(宛先 [mj@fagap.or.jp](mailto:mj@fagap.or.jp)) でお送りください。  
参加費(資料代)は、主催・共催団体会員 7,500 円(税込)、一般 11,250 円(税込)、学生 1,500 円(税込)、高校生(無料)です。  
必要書類などを郵送いたします。会場参加は 2 月 2 日まで、オンライン参加は 2 月 6 日 17:00 まで事前受付しております。

# 2023 年度 GAP シンポジウム 参加申込書

Fax 029-856-0024 事務局行き

●印の項目は、必ずご記入いただけますようお願いいたします。

●ふりがな		●TEL		FAX	
●氏名		●email			
●所属名					
部署名		役職名			
●所在地	〒				
●職業	<input type="checkbox"/> 農業個人	<input type="checkbox"/> 生産団体	<input type="checkbox"/> JA	<input type="checkbox"/> JAグループ	<input type="checkbox"/> 普及指導
	<input type="checkbox"/> 国行政	<input type="checkbox"/> 都道府県行政	<input type="checkbox"/> 市町村行政	<input type="checkbox"/> 試験研究(農業試験場、研究所など)	
	<input type="checkbox"/> 審査・認証	<input type="checkbox"/> サービス・コンサルティング		<input type="checkbox"/> 食品流通	<input type="checkbox"/> 食品製造
	<input type="checkbox"/> 検査・分析	<input type="checkbox"/> 農業資材・機械	<input type="checkbox"/> IT関連	<input type="checkbox"/> その他( )	
	<input type="checkbox"/> 高校・大学・農業大学校関係者	<input type="checkbox"/> 学生(高校・大学・農業大学校など)		<input type="checkbox"/> 報道	
●参加方法	<input type="checkbox"/> オンライン		<input type="checkbox"/> 当日会場 (つくば研修支援センター)	●来場方法 <input type="checkbox"/> お車 <input type="checkbox"/> その他 お車でご来場の方は、駐車証をお渡しいたします。	
				●つくば分析センター見学会 <input type="checkbox"/> 参加希望 <input type="checkbox"/> 参加しない (先着 20 名限定。該当の方には、別途ご連絡いたします。)	
●会員種別	<input type="checkbox"/> 一般(11,250 円)		<input type="checkbox"/> 学生(1,500 円)	<input type="checkbox"/> 高校生(無料)	
	<input type="checkbox"/> (一社)日本生産者 GAP 協会会員 (7,500 円)		<input type="checkbox"/> 農業情報学会会員 (7,500 円)		
	<input type="checkbox"/> (一社)GAP 普及推進機構会員 (7,500 円)		<input type="checkbox"/> 経済人コーポラ卓会議日本委員会会員 (7,500 円)		
	<input type="checkbox"/> 株式会社つくば分析センター (7,500 円)				
※ 団体として、農学系大学・専修学校・農業高校の授業として聴講される場合は、専用の参加申込書をご用意しております。					

必要書類についてご記入ください。請求書は全員に発行致します。

●見積書 無/有 ●納品書 無/有 ●請求日 年  月  日/日付無

●宛名

●但書

※ご指定のない場合は「2023 年度 GAP シンポジウム参加費」となります。

通信欄 その他連絡事項がございましたらご記入ください。

●参加料の支払い方法について、いずれかにチェックをして下さい。  事前振込  開催後振込

◆これを機に一般社団法人日本生産者 GAP 協会の会員になりませんか。会員価格で参加できます。

(会員特典:①GAP 普及ニュース ②GAP 相談サービス ③シンポジウム、セミナーの優待)  
一般社団法人日本生産者 GAP 協会利用会員に加入いたします。→(加入する会員種別にチェックを入れてください)

- 利用会員個人年会費 10,000 円  
 利用下院団体年会費(企業、農協、生産組合などの団体) 20,000 円  
 賛助会員年会費(個人、法人、組合などの団体) 一口 30,000 円( )口

2023年度GAPシンポジウム <https://fagap.or.jp/seminarsymposium/symp2023/>  
一般社団法人日本生産者 GAP 協会のホームページ <https://fagap.or.jp/>  
〒305-0035 茨城県つくば市松代 3-4-3 A402 TEL:029-861-4900 FAX:029-856-0024

※開催日の約 1 ヶ月前にシンポジウム(zoom ウェビナー)URL および資料ダウンロード URL をご案内します。URL ご案内後の参加キャンセルは致しかねますので予めご了承ください。なお、当日参加できなかった場合は、各講演のビデオストリーミング配信をご利用ください。

# 書籍注文書 FAX 用紙

この用紙に必用事項をご記入の上、FAX 送信してください。E メールでのご注文もお受けしております。  
 ※協会の会員は本体価格より 1 割引。※10 冊以上のご購入で本体価格より 2 割引 (会員・非会員問わず)

株式会社 AGIC 行き FAX 番号 029-856-0024

ご注文日: 年 月 日

ご注文書籍		価格	冊数	計
技術	実践ガイド 生態学的土づくり	5,500 円(税込)		
評価	グリーンハーベスター農場評価ガイドブック -農業者の GAP レベルの向上のため-	3,190 円(税込)		
規範	日本 GAP 規範 第 2 版 -環境と人にやさしい農業の実践-	3,520 円(税込)		
	私たちの水・土壌・大気の保護 イングランド版 適正農業規範	1,500 円(税込) ※実費負担として		
普及	「GAP 導入」	本体 1,900 円+税		
GAP シンポジウム資料集	「GAP は生産者と消費者を結ぶ懸け橋」 2019 年度	1,500 円(税込)		
	「東京 2020 後の農産物販売と GAP 戦略」 2018 年度	1,500 円(税込)		
	「オリパラに向けた GAP 指導と本来の農場評価体制」 2017 年度	1,500 円(税込)		
	「GAP 実践と農産物バリューチェーン」 2016 年度	1,500 円(税込)		
	「オリンピックのための食材調達をいかに実現するか」 2015 年度	1,000 円(税込)※PDF		
	「グローバルな食市場と適正農業規範」 2014 年度	1,000 円(税込)※PDF		
	「GLOBALGAP 認証の学習と実践」 2014 年度	1,500 円(税込)		
	「直売所生産者の GAP 教育とリスク管理」 2013 年度農産物直売所 GAP セミナー資料	1,000 円(税込)※PDF		
	「日本 GAP 規範に基づく GAP 教育システムと地域振興」 2013 年度	1,000 円(税込)※PDF		
	「持続的農業のための GAP(適正農業管理)」 2012 年度春期	1,500 円(税込)		
	「日本 GAP 規範と農場評価制度」 2011 年秋期	1,500 円(税込)		
	「日本適正農業規範(未定稿)の概要と検討」 2010 年秋期	1,500 円(税込)		
	「適正農業規範 欧州の適正農業規範に学ぶ」 第 22 回食・農・環境の情報ネットワーク全国大会	1,500 円(税込)		
	「適正農業規範 GAP 導入とそのあり方」 第 21 回食・農・環境の情報ネットワーク全国大会	1,500 円(税込)		
「日本農業を救う GAP は？」 第 20 回食・農・環境の情報ネットワーク全国大会	1,500 円(税込)			
送料: 注文数、お届け先により異なります。お問合せください				
<b>合計</b>				

ご注文主 (お届け先)		
氏名:		
組織:	所属:	
E メール:	電話:	FAX:
住所: 〒		
必要書類: <input type="checkbox"/> 見積書 / <input type="checkbox"/> 納品書	見積日・請求日:	
書類宛名:		
備考欄:		
支払方法: 商品到着後、請求書に記載された指定口座にお振込みをお願いいたします。 (商品は、受付から 1 週間程度でお届けいたします。お急ぎの方は、ご連絡ください。)		

# 2023年度GAPシンポジウム

『実践ガイド 生態学的土づくり』日本語版出版記念

# グリーンな栽培体系と 国際水準GAP

- 本シンポジウムでは、持続可能な農業を目指す生態学的農法について、日本の第一人者から学びます。
- また、米国農業が実績を上げている生態学的土壌管理に関して、農家と農業改良普及員のバイブルと言われている『実践ガイド 生態学的土づくり』の講義を通じて、日本農業の問題を解決する「グリーンな栽培体系」の実現について議論を深めます。
- さらに、生産性と持続性を同時に達成することを目標とする世界と日本の農業が、GAP（適正農業管理）をどのように進めるのか、国際水準GAPを意識し、世界のGAP認証も含めた現実的な課題解決のための議論を進めます。



## 主な講演者

- 金子信博（福島大学食農学類生産環境学コース 教授）”土壌生態学”、“土壌保全農業”
- 小松崎将一（茨城大学農学部附属国際フィールド農学センター長 教授）”環境農学”、“カバークロープ”
- 山田正美（日本生産者GAP協会専務理事）”「実践ガイド 生態学的土づくり」を翻訳”  
他

## 開催日：

2024年2月8日(木) 13:00～17:00 / 9日(金) 9:45～17:00

## 場所：

つくば研究支援センター(茨城県つくば市) + オンライン(zoomウェビナー)

※開催後に参加者限定で各講演のビデオをストリーミング配信

## 参加費：

<個人>主催・共催等会員：¥7,500、一般：¥11,250、大学生：¥1,500、高校生：無料

<団体>農学系大学・専修学校・農業高校の授業として聴講：¥11,250

\*配布(送付)資料：GAPシンポジウム講演要旨

## 推奨資料(別売)：『実践ガイド 生態学的土づくり』

2日目は主に上記書籍の内容を踏まえた講演・講義が行われます。

※当日までにお求めになることを推奨します。

**主催：**一般社団法人日本生産者GAP協会

**共催：**一般社団法人農業情報学会、一般社団法人GAP普及推進機構、特定非営利活動法人

経済人コー円卓会議日本委員会、一般社団法人沖縄トランスフォーメーション(沖縄DX)

**特別協賛：**株式会社つくば分析センター

**事務局：**大会実行委員長：小松崎将一 茨城大学農学部教授

一般社団法人日本生産者GAP協会 (029-861-4900) (mj@fagap.or.jp)

**HP：**<https://www.fagap.or.jp/seminarsymposium/symp2023/>

詳細・申込





# 実践ガイド 生態学的土づくり

2023年  
11月10日  
発売



## 『みどりの食料システム戦略』 に向けた必携の書！

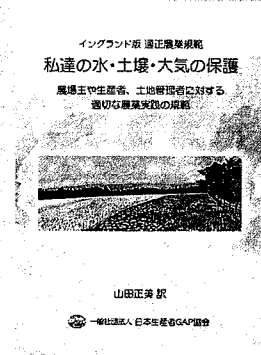
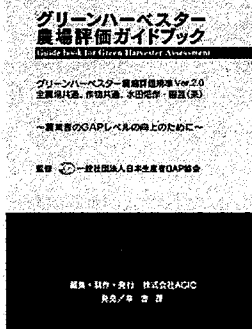
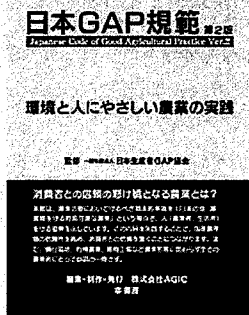


本書は、土壌が健全であることの重要性を総合的に理解し、健全な土壌の育成と維持に役立つ生態学的な実践方法を学ぶためのガイドブックです。品質の良い作物を生産するために健全な土壌を確保することは、国や地域を超えた農業の基本です。

そのための、健全な土壌づくりの基礎知識から実践まで科学的かつ分かりやすく説明しています。

生産者はもとより新規就農希望者、新規就農者、農業高校・農業大学校・大学農学部学生、教職員、普及指導員、営農指導員、地球環境に関心のある市民等々多くの方々のご利用をお勧めします。

著者：フレッド・マグドフ／ハロルド・ヴァン・エス 著 山田正美 訳  
 発行：一般社団法人日本生産者GAP協会 制作：株式会社AGIC 販売：一般社団法人農山漁村文化協会  
 価格：5,500円（税込） B5版 416頁フルカラー  
 （下記注文書でご注文の場合、日本生産者GAP協会会員は1割引き、10冊以上ご購入の場合は2割引き（会員・非会員問わず）。送料別（1冊の場合370円）。



持続可能な農業に適用される一連の原則、法律の実用的な解釈、行動規制、技術的な推奨事項をまとめたもの。2010年に第1版策定され、新たな時代の要求「環境に優しく公平で健康的な食料システムの国際戦略」に対応するために大改訂した。

『日本GAP規範』が規定している適正農業を、農業者や生産組織がどの程度を実践できているのかを評価する『グリーンハーベスター農場評価制度(GH農場評価)』の手引書。GH農場評価は、全国の都道府県やJAでGAP指導員育成として利用されている。

イギリスの環境・食料・農村地域省(DEFRA)が作成・発行した農場主、生産者や土地管理者が管理している土地の環境を保全するために、彼らを支援するための実践ガイドの翻訳書。2010年度GAPシンポジウムの資料として製本したものの。

ご注文書 ⇒ 株式会社AGIC FAX 029-856-0024

注文者(所属・氏名)	
書類宛名	
住所 〒	
TEL	FAX

実践ガイド 生態学的土づくり	5,500円(税込)	冊
『日本GAP規範 第2版』	3,520円(税込)	冊
『GH農場評価ガイドブック』	3,190円(税込)	冊
イングランド版 適正農業規範	1,500円(税込)	冊

発行 一般社団法人 日本生産者GAP協会 〒305-0035 茨城県つくば市松代3-4-3 A402 TEL 029-861-4900 <https://www.fagap.or.jp/>  
 制作・販売 株式会社AGIC 〒305-0035 茨城県つくば市松代3-4-3 A402 TEL 029-856-0236 <https://www.agic.ne.jp/>